



Topic

働き方改革を支える！横浜市教育委員会の取組

①-1

## 「教職員の働き方改革プロジェクト」

4 教職員の働き方改革の  
着実な推進に向けて

P.39

教育委員会事務局が一丸となって取組を進める上での基盤となる「教職員の働き方改革プロジェクト」（課長級の会議）。昨年度は3回実施したこのプロジェクト、今年度の第1回は、5月21日に行いました。

### 第1回プロジェクト 主な内容

□教育次長挨拶

➢プラン策定の二年目こそが勝負の年。各課室が協力しながら積極的に改革を推進してほしい。

□今年度のプロジェクトの目的

➢一般の教職員のみなさんに事務局が進めていることがわかるようにコミュニケーションを大切に。  
➢昨年度に引き続き、事務局が一枚岩となり、複合的に取組を進めていきたい。

□各課室からの情報共有

➢「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドラインの策定について（通知）」（文部科学省平成31年1月25日）  
➢今年度の取組状況や今後の取組予定



### 調査・依頼の見直しに本気で取り組みます！

調査・依頼の見直し検討のために、「まずは学校現場の立場に立つことから始めよう」ということで4月に発出した数を集計し、各調査・依頼の回答にどの位時間がかかるかを試算しました。

あくまでも疑似体験ですが、ここで感じたことを大切にしながら改善・検討を進めていきます。

4月分調査依頼件数 **79件** × 1件当たりの平均処理時間 **約16分** ➡ 例えば、1日3件回答したら、**約1時間!**

4月分調査依頼を  
全て紙で印刷すると



なんと  
7cm!

その他に確認する通知も  
数多くある。



4月分通知

259件

これは、何とかしないと!!

でも、まだ、スタートライン  
に立ったばかり!  
改善できるところから、進め  
ていきます。

Topic

働き方改革を支える！横浜市教育委員会の取組

①-2

## 働き方改革の視点を盛り込んだ研修の開発・推進

戦略4-(2)-② P.37

教職員育成課が立教大学・中原淳研究室と協働研究で進めてきた新たな研修の開発。その一つとして「新任校長研修」の中で年3回働き方に関する研修を実施します。「研修⇒学校で実践」というプロセスを大切にしながら進めていきます。

**目的** 新任校長として自校を「教職員が働きやすく、学びやすい環境」にするために

### 新任校長研修：4月17日（第1回）

主な内容

- ①横浜市の教職員の働き方の現状と自校の現状
- ②「サーベイフィードバック」とは
- ③自校での取組に向けて

サーベイ（調査）

フィードバック（現場に返す）

- 1 自分たちの働き方を知る・振り返る（教職員のアンケートを見える化）
- 2 自分たちの働き方を自分たちで決める（教職員で対話）
- 3 実践

学校で実践

- ★プロジェクトチーム結成
- ★教職員に働き方アンケートを実施

### 新任校長研修：6月7日（第2回）

主な内容

- ①自校のアンケート結果を知る
  - ②具体的な進め方を考え、準備
- フィードバックのための「データプレゼン」作成

学校で実践

- ★プロジェクトチームで話し合い
- ★職場全体で話し合い
- ★改善策の決定・周知
- ★実行

第3回研修  
(9月6日)へ



### 参加した校長先生の声 「1年間で1歩でも前進できるように」

「今すぐ答えは出ませんが、研修で得たことは今後の学校経営に必ずつながると思います。「働き方改革」については、これから職員と取り組んでいくことがとても楽しみです。」  
「ストレスチェックの数値が非常に高い状況です。教職員と今夏に働き方改革検討の場を予定しています。研修のツールも活用して効果的に進めていければと思います。」

「平成 30 年度 働き方改革通信：No. 10」でご紹介した「教育と福祉」を受けて、泉区岡津中学校では、障害者施設からの優先調達でプール清掃を委託することにしました。

**Action ①** “働き方改革を進めたい”～できることから動かないと～

現状（これまで）

- 定期試験の最終日に、プール清掃をしている
- 人の確保が難しい



期待されること

- 定期試験の採点や成績処理に集中できる
- 様々な働き方をしている・経験年数の少ない教職員が増えてきている中で、一つの支援策にしたい



今後は

- 区内の学校に紹介したい
- 他にも、委託できることがあればやりたい

**Action ②** “こんな風に進めました”

まずはここに相談を！

よこはま障害者共同受注  
総合センター「わーくる」  
☎306-9910  
<http://www.yokohama-juchuu.jp/>



実際に学校に来てもらって打合せ

- 「わーくる」の担当者が来校し、依頼内容や場所を確認。
- 依頼できる障害者施設を「わーくる」にて調整し、学校に紹介。



具体的な仕様について調整

依頼する障害者施設の方が来校し、具体的な仕様（金額・時期・回数・内容等）について学校と相談。



学校長

思っていたよりもスムーズに依頼ができました。方法がわかれば、他校にも広がると思うので、積極的に他校に伝えていきます。今回の依頼を通じて、地域にある福祉施設とつながることができたのもよかったです。これからも働き方改革を進めていきたいし、それが生徒や教職員のためになると考えています。

今回このような依頼は初めてで、未経験な部分もあったのですが、チャレンジさせていただくことができ、とてもありがたかったです。

我々の地域貢献にもなり、かつ学校にも福祉施設のことを知ってもらえたことは、双方にとってメリットがあると感じています。



施設長



このテーマ **本気** で考えてみませんか **学校行事見直し編**

働き方改革の推進に明確な正解はないのかもしれませんが。このコーナーでは、みんなで考えるきっかけとなるようなテーマを取り上げていきます。今回は「学校行事の見直し」について考えます。

みなさんの学校で、学校行事についてこんな思いや意見、ありませんか・・・？

学校行事の時期  
見直したほうがいいのか

避難訓練をもっと効果的に  
できる方法はないかな

運動会に向けての準備  
年々増えてない？

見直していくうえでの大切なことは・・・

例えば **学校全体で目指す資質・能力** **学校教育目標** **児童・生徒の思い** **地域・保護者の思い**

旭区今宿中学校では、4年前から教育課程の改善・編成を進め、学校行事を見直しました。



文化祭  
10月



合唱祭  
3月

- ✓ 生徒の思いを大切に
- ✓ 育てたい資質・能力を踏まえて
- ✓ 地域・保護者へ丁寧に説明
- ✓ 3年かけて段階的に進めた

より充実した学校行事に



10月の文化祭で  
合唱祭を実施

その他の学校行事  
についても見直し  
を実施



子どもたちのがんばる姿をもっと見たい！  
来年も期待しちゃいます！



学校行事は大切にしたい！  
でも、学校教育全体のバランスも考えていかないと。



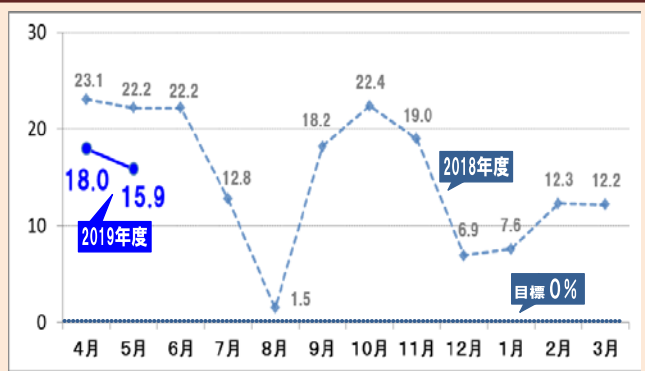
各校では新学習指導要領全面実施に向けて、学校として育てたい資質・能力と照らし合わせ、教育課程を検討していることと思います。でも、単に減らせばよいというものではありません。では、どうしたらいいのか。今回のテーマ「学校行事の見直し」は、働き方改革に直接的に結びつくものではないかもしれませんが、大切なのは、それぞれの学校が「何を大切にしたいか」という視点を持ち、持続可能な形にしていくことではないでしょうか。

～先生のHappyが子どもの笑顔をつくる～

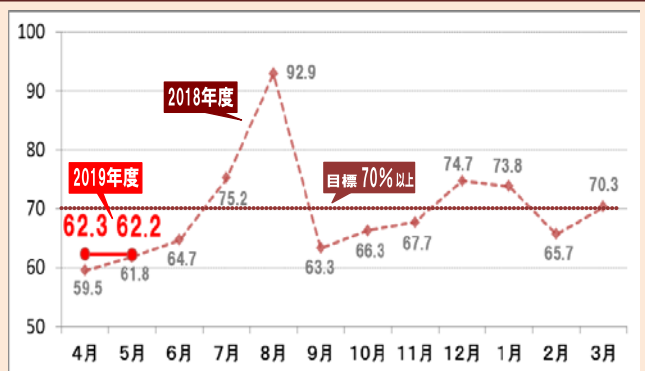


(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (2019年6月5日時点)

項目		目標	
時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合		0%	
2019年5月実績			
平均	小学校	中学校	特別支援学校
15.9%	7.8%	35.9%	1.7%
😊 前年比 -6.3	😊 前年比 -7.1	😊 前年比 -5.5	😊 前年比 -0.5



項目		目標	
19 時までには退勤する教職員の割合		70%以上	
2019年5月実績			
平均	小学校	中学校	特別支援学校
62.2%	61.2%	59.7%	83.2%
😊 前年比 +0.4	😊 前年比 +0.6	😞 前年比 -0.1	😞 前年比 -0.2

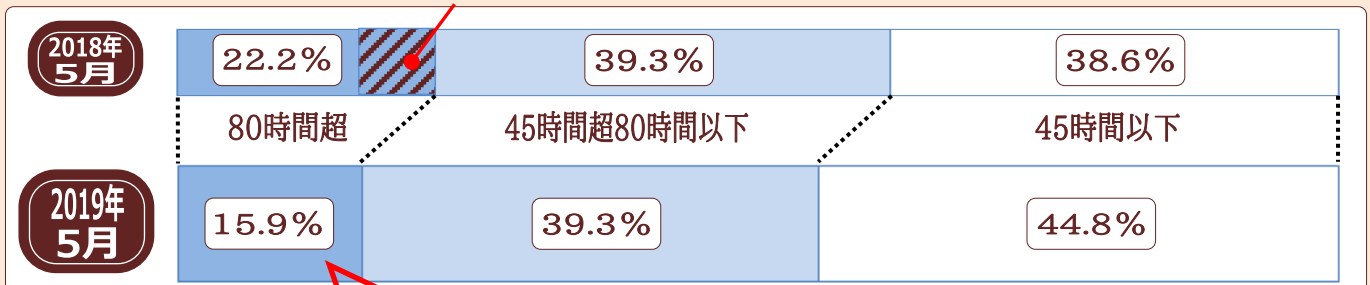


※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、IC カード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

(2) 時間外勤務 (2019年5月) の詳細

◇ 時間外勤務の割合 (全校種平均)

時間外勤務 80 時間超が昨年 5 月よりも **約 3 割減**



◇ 時間外勤務の割合 (校種別割合)

月あたり 時間外勤務	2019年5月			2018年5月	
	100時間超	80時間超 100時間以下	小計 80時間超	小計 45時間超80時間以下	小計 45時間以下
小学校	1.4%	6.4%	7.8%	45.5%	46.7%
前年比	-1.7	-5.4	-7.1		
中学校	21.1%	14.8%	35.9%	32.1%	32.0%
前年比	-4.4	-1.1	-5.5		
特別支援学校	0.3%	1.4%	1.7%	13.0%	85.3%
前年比	-0.1	-0.4	-0.5		
平均	7.3%	8.6%	15.9%	39.3%	44.8%
前年比	-2.5	-3.8	-6.3		



今年度の5月は大型連休の関係で、勤務日数は昨年5月よりも少なかったのですが、それでも昨年度より時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合に大きな減少が見られました。各学校の地道な取組が積み重なり、働き方の改善が着実にあらわれているように感じます。

「私の学校ではこんな取組をしています」「これをやってみたらこんな成果が出ました」など、学校の具体的な取組も随時募集しています。Smile で全校に発信してみませんか。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。